

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援放課後等デイサービス child in medical care		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 5日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 11月 5日		2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成にあたっては、保護者に対して十分な説明を行い、理解を得たうえで支援を進めています。日々の様子や支援内容についてもこまめに共有し、信頼関係を大切にしたい連携を意識して取り組んでいます。	支援会議の内容を職員間で共有し、保護者の意向を踏まえた支援目標の検討・実施を行っています。	成長の様子を丁寧に確認しながら、保護者との情報共有をより迅速かつ円滑に行い、支援のさらなる充実を図っていきます。
2	活動に十分なスペースを確保し学習・運動・リラックスなど、利用児童の特性や状態に応じた環境づくりを行っています。	集中しやすい学習スペースの確保や、気持ちを落ち着かせるためのアイテムを活用し、安心して過ごせる環境を整えています。	時間帯に応じて活動内容を工夫し、学習・運動・リラックスをバランスよく取り入れるとともに、野外活動なども積極的に行っていきます。
3	施設内で生き物の飼育・観察を行い、命の大切さや成長の過程を学ぶ機会を設けています。生き物を通じた関わりの中で、コミュニケーション力の育成にもつなげています。	日々の様子を丁寧に観察し、餌やりや水替えなどを通して、役割や管理方法をわかりやすく伝えています。	一緒に飼育に取り組む中で、自ら考え行動できる力を育み、主体性の向上につながる支援を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団ならではのきめ細やかな支援ができる一方で、大人数の集団行動を経験する機会が限られています。	定員や環境の制約により、多様な集団活動の実施が難しい状況があります。	外出活動や公共施設の利用を通じて、公共の場でのルールやマナーを学ぶ機会を増やすとともに、他事業所との合同活動も検討していきます。
2	不登校児への支援において、十分な対応が難しいケースがあります。	学校や関係機関との情報共有・連携が十分でない場合があり、個別対応に課題が生じています。	学校や関係機関との連携を強化し、不登校に関する課題や支援方法について継続的な話し合いを行っています。
3	医ケア児に必要な支援のため看護師の配置が必要であり、受け入れが十分にできていない。	看護師の人員確保が難しい状況であり、医ケア児への支援体制の充実が課題となっています。	看護師の確保や人員体制の見直しを進め、より多様なニーズに対応できる支援体制の構築を目指します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービスさくら child in medical care

公表日 2026年 1月 30日

利用児童数

17名

回収数 16名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1		2	・元気に動き回れるスペースもあり満足そうです。	・今後も十分なスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			4		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1		3		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2		2	いつも色々なことをさせてもらっているため。	今後もプログラムが固定化されないよう努めます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	9	3		4	公園や地域のお祭りなど連れて行ってもらい満足そうです。	今後も地域での活動も積極的に取り入れていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	1	4	対応に困った時は個別ですぐ対応してもらっています。	今後も継続していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	4	8		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		7	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1		7	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13		1	2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		4	事故は経験がないです。 今後も安全に十分配慮し、発生した時には速やかに適切な対応に努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15		1		・とても楽しみにしています。・いつも嬉しそうに通っています。・グッズもありますが、行けば楽しいということは知っています。・車に乗って行くのが楽しみたいです。 今後も楽しみをもって通所出来るように、工夫しながら支援に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			いつも助かっています。ありがとうございます。 今後も満足していただけるように支援に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援放課後等デイサービスさくら child in medical care		公表日		2026年 1月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		十分なスペースを確保する為、収納を工夫している。	今後も十分なスペースを確保していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		適切な職員配置の調整を行っています。	今後も適切な職員配置を整えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		視覚的にわかりやすく示したり、特性に合わせた環境設定に努めています。	今後も継続して行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の清掃を行っています。	今後も継続して行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		ご利用者様の状況や必要に応じて個別の部屋や区切られた場所に対応を行っています。	今後も環境を整えていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	都度職員同士で情報の共有や話し合いを行っています。	今後も継続して行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的に面談や必要に応じて都度相談の機会を設けています。	今後も継続して行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見が出たときには都度職員間で情報の共有、検討を行っています。	今後も継続して行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現在は行っておりません。	検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間の研修計画に沿って必要な研修を行っています。	今後も継続して行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムの作成・ホームページにて公表をしています。	今後も継続して行っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		計画作成前にアセスメントを行い、ご本人や保護者のニーズに合わせた計画を作成しています。	今後も継続して行っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		ケース会議やミニケア会議を必要に応じて開催しており、支援に関わる職員で共通理解に努めています。	今後も継続して行っています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画はいつでも閲覧できるようにし、計画に沿って支援が行えるよう努めています。	今後も支援の統一に努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	面談などにより情報を収集したり、日々の施設生活の中で行動を観察することでインフォーマルなアセスメントを行っています。	今後も継続して行っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	ガイドラインを参考にしながらこどもの支援に必要な項目を設定するよう努めています。	今後も継続して行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員間で話し合い、活動プログラムの検討を行っています。	今後も継続して行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		日々の活動内容の変更を行い、固定化しないよう工夫しています。	今後も継続して行っています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		状況を見極めながら個別や集団での活動を組み合わせ計画を作成・支援を提供できるように努めています。	今後も継続して行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		ミーティングの時間を設け、職員間で確認・連携を図っています。	今後も継続して行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	退勤時間が異なる為、当日中の打合せは難しい時が多いが、翌日には振り返りを行い、情報の共有や改善点・対応策の話し合いを行っています。	今後も継続して行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の記録は個人別に毎回記入しています。	今後も継続して行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度はモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	今後も継続して行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者や、必要に応じて直接支援を行っている児童指導員・保育士も参加しています。	今後も継続して行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	各関係機関と連携を図る体制を整えています。	今後も継続して行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	必要に応じて、園との間で支援内容等の情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	必要に応じて、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	必要に応じて助言やスーパーバイズを受ける体制を整えています。	今後も継続して行っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		地域の公園や公共の施設で活動の機会を設けています。	今後も継続して行っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の様子をアプリを活用して伝え合い、共通理解に努めています。	今後も継続して行っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8	現在は行っておらず。	今後実施していく予定です。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や、必要に応じて説明を行っています。	今後も継続して行っています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談を実施し、ニーズや意向を聞き取り確認する機会を設けています。	今後も継続して行っています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		支援内容の説明を行い、保護者の同意を得ています。	今後も継続して行っています。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		都度相談に対応し、助言や支援を行っています。	今後も継続して行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8	現在は行っておりません。	今後実施を検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		都度迅速かつ適切に対応するよう努めています。	今後も継続して行っています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的にSNS等で発信を行っています。	今後も継続して行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		保護者より同意書をもらい、個人のカルテについては鍵付きの書庫にて管理しています。	今後も継続して行っています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		視覚的支援や簡潔な言葉で伝える・繰り返し確認を行っています。保護者とは、アプリや送迎時に口頭で説明、必要に応じて面談を実施し、相互理解に努めています。	今後も継続して行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		現在は実施しておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルを策定し、年間の訓練計画に沿って訓練を実施しています。	今後も継続して行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPの作成をし、年間の計画に沿って必要な訓練を行っています。	今後も継続して行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		事前に聞き取りや決められた様式に記入して頂き、子どもの状況を確認しています。	今後も継続して行っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8	食物アレルギーがある子どもについては、保護者に聞き取りをし、おやつは持参して頂いています。調理実習の際には、材料の成分表を確認して頂いています。	必要に応じて医師の指示書の確認も行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、職員に周知している。必要な設備点検や環境を整備を行い、安全管理が行われた中で支援を実施している。	今後も継続して行っています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	契約時やモニタリング時に、丁寧に説明させて頂くことを心がけています。	今後も継続して行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		事業所内で共有、職員間で検討し、再発防止に努めています。	今後も継続して行っています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修の機会を確保し、虐待防止に関する方針を職員へ周知しています。適切に対応できる体制を整えています。	今後も継続して行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		やむを得ず行う場合には、組織的に検討・決定し、子ども(保護者)に事前に説明を行い、同意を得た上で児童発達支援計画に記載しています。	今後も継続して行っています。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援放課後等デイサービスさくら child in medical care
------	-------------------------------------------

公表日 2026年1月30日

利用児童数 15名

回収数 12名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12				室内でも大きな動きができ満足そうです。	今後も十分なスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2		6	買い物や公園など施設外への活動も多いためです。	今後も地域での活動を取り入れていきたいと思っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	3	1	7		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1				
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	2	2	7		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1		1		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10		2	事故は経験がないです。	今後も安全には十分配慮し、発生した際には速やかな対応に努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1		27・28に関しては、事業所の態勢の問題ではなく、本人の感受性や資質によるものと感じます。私自身は本人の特性に合わせた対応やケアをして頂いていると考えております。	今後も一人ひとりの特性に合わせた対応を心がけて支援に努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	2		とても楽しみにしています。	今後も楽しみをもって通所して頂けるよう支援に努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援放課後等デイサービスさくら child in medical care			公表日	2026年 1月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		十分なスペースを確保する為、収納を工夫している。	今後も十分なスペースを確保します。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		適切な職員配置の調整を行っています。	今後も適切な職員配置の調整を行います。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		視覚的にわかりやすく示したり、特性に合わせた環境設定に努めています。	今後も継続していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の清掃を行っています。	今後も継続していきます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		ご利用者様の状況や必要に応じて個別の部屋や区切られた場所に対応を行っています。	今後も継続していきます。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	都度職員同士で情報の共有や話し合いを行っています。	今後も継続していきます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的に面談や必要に応じて都度相談の機会を設けています。	今後も継続していきます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		意見が出たときには都度職員間で情報の共有、検討を行っています。	今後も継続していきます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現在は行っておらず。	必要に応じて検討していきます。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間の研修計画に沿って必要な研修を行っています。	今後も継続していきます。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムの作成・ホームページにて公表をしています。	今後も継続していきます。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		計画作成前にアセスメントを行い、ご本人や保護者のニーズに合わせた計画を作成しています。	今後も継続していきます。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		ケース会議やミニケア会議を必要に応じて開催しており、支援に関わる職員で共通理解に努めています。	今後も継続していきます。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画はいつでも閲覧できるようにし、計画に沿って支援が行えるよう努めています。	今後も継続していきます。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	面談などにより情報を収集したり、日々の施設生活の中で行動を観察することでインフォーマルなアセスメントを行っています。	今後も継続していきます。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	ガイドラインを参考にしながらこどもの支援に必要な項目を設定するよう努めています。	今後も継続していきます。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員間で話し合い、活動プログラムの検討を行っています。	今後も継続していきます。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		日々の活動内容の変更を行い、固定化しないよう工夫しています。	今後も継続していきます。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		状況を見極めながら個別や集団での活動を組み合わせ計画を作成・支援を提供できるように努めています。	今後も継続していきます。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		ミーティングの時間を設け、職員間で確認・連携を図っています。	今後も継続していきます。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	退勤時間が異なる為、当日中の打ち合わせは難しい時が多いが、翌日には振り返りを行い、情報の共有や改善点・対応策の話し合いを行っています。	今後も継続していきます。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々の記録は個人別に毎回記入しています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度はモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	今後も継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	1	子どもの発達段階や特性に応じて複数組み合わせながら支援を行っています。	今後も継続していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		活動や関わり方について、子ども自身が選択できる機会を設け、職員が丁寧に意思確認を行いながら支援を行っています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者や、必要に応じて直接支援を行っている児童指導員・保育士も参加しています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	各関係機関と連携を図れる体制を整えています。	今後も継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	都度確認を適切に行っている。	今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	必要に応じて、園との間で支援内容等の情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8	開所してから今までに学校を卒業された方はおられません。	今後学校を卒業される方を想定し、情報の提供の方法を検討しておきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	必要に応じて助言やスーパーバイズを受ける体制を整えています。	今後も継続していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8		地域の公園や公共の施設で活動の機会を設けています。	今後も継続していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		8	現在は参加しておらず。	今後積極的に参加を検討していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の様子をアプリを活用して伝え合い、共通理解に努めています。	今後も継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		8	現在は実施しておらず。	今後実施していく予定です。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や、必要に応じて説明を行っています。	今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談を実施し、ニーズや意向を聞き取り確認する機会を設けています。	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		支援内容の説明を行い、保護者の同意を得ています。	今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		都度相談に対応し、助言や支援を行っています。	今後も継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		8	現在は実施しておらず。	今後実施していく予定です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		都度迅速かつ適切に対応するよう努めています。	今後も継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的にSNS等で発信を行っています。	今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		保護者より同意書をもらい、個人のカルデについては鍵付きの書庫にて管理しています。	今後も継続していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		視覚的支援や簡単な言葉で伝える・繰り返し確認を行っています。保護者とは、アプリや送迎時に口頭で説明、必要に応じて面談を実施し、相互理解に努めています。	今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8	現在は実施しておらず。	今後検討していきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルを策定し、年間の訓練計画に沿って訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPの作成をし、年間の計画に沿って必要な訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		事前に聞き取りや決められた様式に記入して頂き、こどもの状況を確認しています。	今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8	食物アレルギーがある子どもについては、保護者に聞き取りをし、おやつは持参して頂いています。調理実習の際には、材料の成分表を確認して頂いています。	必要に応じて対応を検討していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、職員に周知している。必要な設備点検や環境を整備を行い、安全管理が行われた中で支援を実施している。	今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	契約時やモニタリング時に、丁寧に説明させて頂くことを心がけています。	今後も継続していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		事業所内で共有、職員間で検討し、再発防止に努めています。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修の機会を確保し、虐待防止に関する方針を職員へ周知しています。適切に対応できる体制を整えています。	今後も継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		やむを得ず行う場合には、組織的に検討・決定し、子ども(保護者)に事前に説明を行い、同意を得た上で児童発達支援計画に記載しています。	今後も継続していきます。